

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390200067
事業所名	グループホーム とくがわの憩

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、会費を納め、回覧板を通じて地域情報収集や近隣住民との関係性を築いている。町内会長とは年始の挨拶を欠かさず、協力体制を継続させている。利用者は初詣等の外出時や日常の散歩で近隣住民と挨拶を交わし、交流を図っている。施設を訪ねに来る住民には、パンフレットや介護に関するアドバイスをして、高齢者福祉や認知症ケアの専門知識を活かした取り組みに繋がっている。ホーム周辺の清掃を行い、地域に貢献している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年6回定期開催をして、規定通り運用されている。会議は昨年度に引き続き、職員、利用者での社内での開催とし、構成員である包括職員、町内会長、区職員には書面にて運営報告を行い、実情を伝え協働関係を継続させている。利用者や家族等の意見や要望を話し合う場としても活用し、実現に向けた支援を検討し、運営の反映に繋がっている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区介護保険課には、書類の提出や、電話で介護保険に関する問い合わせや相談事をして関わる機会があり、関わりを深めている。包括と協働して、家族向けの介護、認知症ケアの講演会を行い連携を図った。入居相談にも随時対応して、相互に協力体制を築けている。市町村主催の研修の案内が届いたり、介護ネットで随時情報収集し、運営の向上に役立っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱の設置があり、意見や要望を受け止める仕組みがある。毎月「とくがわ便り」を発行し、利用者の写真や個人向けのコメントを寄せて日常の様子伝え、家族への安心と信頼関係構築に繋がっている。要望が出れば職員間で即検討し、差し入れや生活物品の依頼や面会の要望を叶えている。利用者の要望は日常の会話や様子から把握に努めて、支援に取り入れるように努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価							○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								